

平成21年度 学校評価結果(自己評価)

県立明石北高等学校

各項目について、4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない の4段階で評価しています。

学校目標：校訓である「自主・協調・創造」を基盤とし、「確かな学力」と豊かな人間性や社会性を身につけ、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人格の形成を目指し、21世紀を共に生きる社会の形成者を育てる。

項目	具体的目標	行事	評価内容	自己評価
特色ある学校づくり	1. 魅力ある学校づくりの推進 理念：生徒一人一人が成就感や達成感を持って学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを推進する。 実践：学校の情報を積極的に提供し、学校としての説明責任を果たし、地域に信頼される学校づくりを推進しているか。	・全校集会	(1) 学校目標の重点化を図り、それぞれの分掌においてそれを具現化し、適宜、評価、見直しを行うとともに行事の精選や行事内容の充実に努めているか。	3.05
			(2) 地域人材・有識者等の特別非常勤講師を招聘したり、研究所や研究機関等と連携し多様な学習機会の設定をしたりするなど、生徒の多様な能力・適性、興味・関心等に応じた学習の機会を拡大、提供に努めているか。	3.48
			(3) 年度当初に生徒指導方針を明確にし、その趣旨を生徒・保護者に説明するとともに定期的にその方針の達成状況を確認することで指導方針の定着を図っているか。	3.09
			(4) 学校評議員に授業や学校行事に参加していただき、それについての意見聴取を行い、授業や行事の改善に努めているか。	3.21
	2. 開かれた学校づくりの推進 理念：基本的な生活習慣や行動の節度を学び取らせ、人格形成の上で重要な役割を持つ家庭並びに地域社会との相互理解・相互信頼の上に立った連携を深める。 実践：地域に開かれた学校づくりを進めながら学校及び家庭における教育効果を高める教育を推進しているか。	・挨拶運動 ・明北祭 ・体育大会 ・高校生地域貢献活動 ・高校生就業体験事業 ・オープンハイスクール	(5) PTAと連携して、挨拶運動や服装・交通指導を行ったり、生徒指導に関する懇談会を持ったりするなど、学校と相互の連携を図っているか。	3.52
			(6) 高校生地域貢献事業・高校生就業体験事業・明北祭・体育大会・オープンハイスクール等を通して、地域の人々との交流を深めているか。	3.52
			(7) 学年通信・学級通信・ホームページを利用したり、保護者向けの進路説明会や懇談会を開催したりするなど、適切な情報を保護者に提供し、教育活動に対する保護者の理解を深めているか。	3.68

項目	具体的目標	行事	評価内容	自己評価
特色ある学校づくり	3. 「在り方 生き方」を考える教育の推進 理念：社会体験・自然体験・職場体験など様々な活動をとおして生徒一人一人が自分の「在り方 生き方」を見つめることができるよう支援しているか。 実践：自己の存在感や有用性を実感し、社会の一員であることを自覚させ、自分の人生を積極的に切り拓いていく心を育む教育を推進しているか。	・進路指導 研修会	(8) ロングホームルームや総合的な学習の時間、社会体験・自然体験・職業体験等の様々な活動をとおして、生徒一人一人が自分の「在り方 生き方」を見つめることができるように指導しているか。	3.02
		・防災訓練	(9) 外部講師による進路講演会や進路ガイダンスを計画的に行うなど、組織的・継続的に進路情報を提供し、生徒自らが進路指導に関して3年間を見据えた年間計画を作成するなど、主体的な進路選択ができるよう支援しているか。	3.27
			(10) 近隣の学校・関係諸機関との連携を図り不審者情報等を共有化したり、危機管理マニュアルを作成し、定期的に防災訓練をしたり、危機への対応や生徒の心のケアについての研修をしたりして、明石北高等学校としての危機管理が図られているか。	2.82
学力の向上	4. 個性や創造性を伸ばす学校教育の充実 理念：多様で効果的な教育課程を編成し、基礎・基本の定着を図り、体験的・問題解決的な学習を積極的に取り入れ「確かな学力」を育む。 実践：主体的、創造的に「生きる力」を育成し、生徒一人一人が個性や創造性を伸ばし、自ら学ぼうとする意欲や関心を喚起する教育を推進しているか。	大学や研究施設の訪問	(11) 生徒の学力の把握を的確に行い、個々の状況に応じて、習熟度別授業や少人数指導などの効果的な指導方法の工夫を行い、個々の生徒が基礎基本の定着が図れるように努めているか。	3.27
		教師の研究会	(12) 生徒の学力の充実とともに進路の実現を図るため、1年生では学習習慣の確立と日常の授業を大切に、2年生では類型による選択授業を実施し生徒個々に応じた学習指導を行い、3年生では進路指導を充実し進路実現が図れるように支援しているか。	3.38
			(13) 生徒の多様な興味・関心に応えられ、また授業の充実と発展的な学習活動が展開できるよう、教師が主体的に研究授業や公開授業を展開したり、計画的な研修に取り組んでいるか。	2.79

項目	具体的目標	行事	評価内容	自己評価
心の教育	5. 豊かな人間性の育成 理念：命と人権を大切に、社会のルールや公正さを重んじる心、他者を思いやる心や自然を愛する心など「心の教育」の充実を図る。 実践：豊かな人間性を育成するとともに、社会の一員としての自覚と国際社会に対応しうる教養を高める教育を推進しているか。	・ロングホームルーム ・総合的な学習の時間	(14) 人権ホームルームや講演会等を通じて生徒の身近な問題から人権を相互に尊重し合う態度を育てたり、他の国の人々を思いやる心の育成を図ったりしているか。	3.11
			(15) 学校全体で、生徒に思いやり的心や社会のルールを守る態度を育てると共に、挨拶や時間を守るといった基本的な生活習慣が身に付くよう指導しているか。	2.96
豊かな心と健康やかな体	6. 豊かな心や健康やかな体を育てるための指導の充実 理念：全教職員が生徒の健康と安全に対する理解と認識を深め、学校全体として健康管理及び安全教育の推進に努める。 実践：健康診断、健康観察の事後措置を徹底させるとともに、健康相談日を設定し、その内容を充実させ総合的な指導にあたり、生徒自らが健康を保持し、増進する能力の育成に努めているか。	・学校保健委員会 ・健康診断 ・交通安全指導	(16) 健康診断や身体測定等を通して、自己の健康状態・体力を知り、自らの健康管理に注意するとともに、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等との連携を密にし、健康指導の徹底が図れているか。	3.20
			(17) いかなる時もまず生命の大切さと命を守るということを前提に行動することができるよう、救急救命講習会の受講や交通安全指導や防災訓練などの体験活動の充実を努めているか。	3.06
			(18) 個人面談などを通して生徒の悩みや相談に親身になって応じるとともに家庭やキャンパスカウンセラーと密接な連携を図るなど、より一層の教育相談の充実に努めているか。	3.44

学校評価（自己評価）の分析と改善策

評価平均点は1～4の4段階で評価した各項目の平均点であり、2.5点の中央値を基準にすると、全項目に於いて、この中央値を上回っている。したがって、おおむね満足できる状態であるが、評価の高い順、低い順に項目毎に検討してみる。

【適切に実施され、成果が見られたもの】

(7) 3.68 開かれた学校づくりの推進 情報発信

学年通信・学級通信・進路通信の発行、ホームページの更新など積極的な情報発信を頻繁に行い、保護者向けの進路説明会や懇談会を開催して、連携を重んじた結果と考える。今年度は特にホームページの校長室（ブログ）の更新が毎日行われたのが大きいと考えられる。

(5) 3.52 開かれた学校づくりの推進 PTAとの連携

PTAと連携して、挨拶運動、街頭指導、自転車のマナー指導を行ったり、生徒指導に関する懇談会をもつなど、相互の連携に努めた結果と考えられる。

(6) 3.52 開かれた学校づくりの推進 地域の人々との交流

明北祭・体育大会等の学校行事への保護者や地域の人々の参加が増加するなど、保護者や地域の人々の学校への関心が高まりつつあると感じられる。

(2) 3.48 魅力ある学校づくりの推進 学習機会の拡大

大学教授や博物館の学芸員等の特別非常勤講師招聘、京都大学・大阪大学等の研究室見学、富士通・新明和工業・NICT等の企業の研究室見学、小柴昌俊氏の講演会、学校設定科目等の多様な選択科目の設置、総合的な学習の時間における探求的な活動などが成果をあげていると考えられる。

(18) 3.44 豊かな心や健やかな体を育てるための指導の充実 教育相談の充実

面談週間の実施等個人面談を充実させたこと、キャンパスカウンセラーとの密接な連携が行えたことが挙げられる。

【十分な成果を得るために、さらに取組が必要であると思われるもの】

(13) 2.79 個性や創造性を伸ばす学校教育の充実 教師の計画的な研修

公開授業週間や研究授業を実施したが、単に参観するだけにとどまり、事後研究や授業に対する研究会がまだ十分でなく、全体的に低調であった。年間を通して、計画的に公開授業や研究授業を行い、教科を中心に研修を充実させ、授業における指導力の向上に努める必要がある。

(10) 2.82 「在り方 生き方」を考える教育の推進 危機管理

事故やけがの対応は素早く適切にできた。全校集会等で交通ルールの遵守と交通事故防止の指導を行ったが、事故や苦情が多くあった。防災・避難訓練での生徒の緊張感の欠如などの問題点もあった。命の大切さを基本にした、生徒の危機管理意識の醸成を図るため、実践的な安全教育への取組を工夫する。また、危機管理マニュアルは作成されているので、その内容の周知徹底をはかる必要がある。

(15) 2.96 豊かな人間性の育成 基本的な生活習慣の確立

挨拶運動や校門指導を実施したり、人権ホームルームや講演会等を通じて、思いやりの心や互いを尊重しあう態度の育成に努めている。挨拶、遅刻は昨年と比べて良くなっていると思われるが、まだまだ不十分である。基本的な生活習慣の確立とともに、交通ルールをはじめ、社会のルールを守る態度を育てるように、全教職員が一致協力し、根気強く指導するような体制づくりを行う必要がある。